

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 261-8515  
 住 所 千葉県千葉市美浜区中瀬1-5-1  
 氏 名 イオンリテール株式会社  
 代表取締役社長 井出 武美 印  
 代理人 南関東カンパニー人事総務部長 広澤 章  
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	イオンリテール株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 麻生区上麻生1-19		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	I	卸売業、小売業
	中分類	50	各種商品卸売業
主たる事業 の内容	総合小売業、食品・住生活・衣料服飾商品等の販売及びサービスの提供		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		3,011 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計 画 期 間	2022 年度 ~ 2024 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	当社の地球温暖化対策の取り組みについては、ホームページにて公表しております。 <a href="http://www.aeon.info/environment/">http://www.aeon.info/environment/</a>

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

## 事業活動地球温暖化対策計画

### 1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

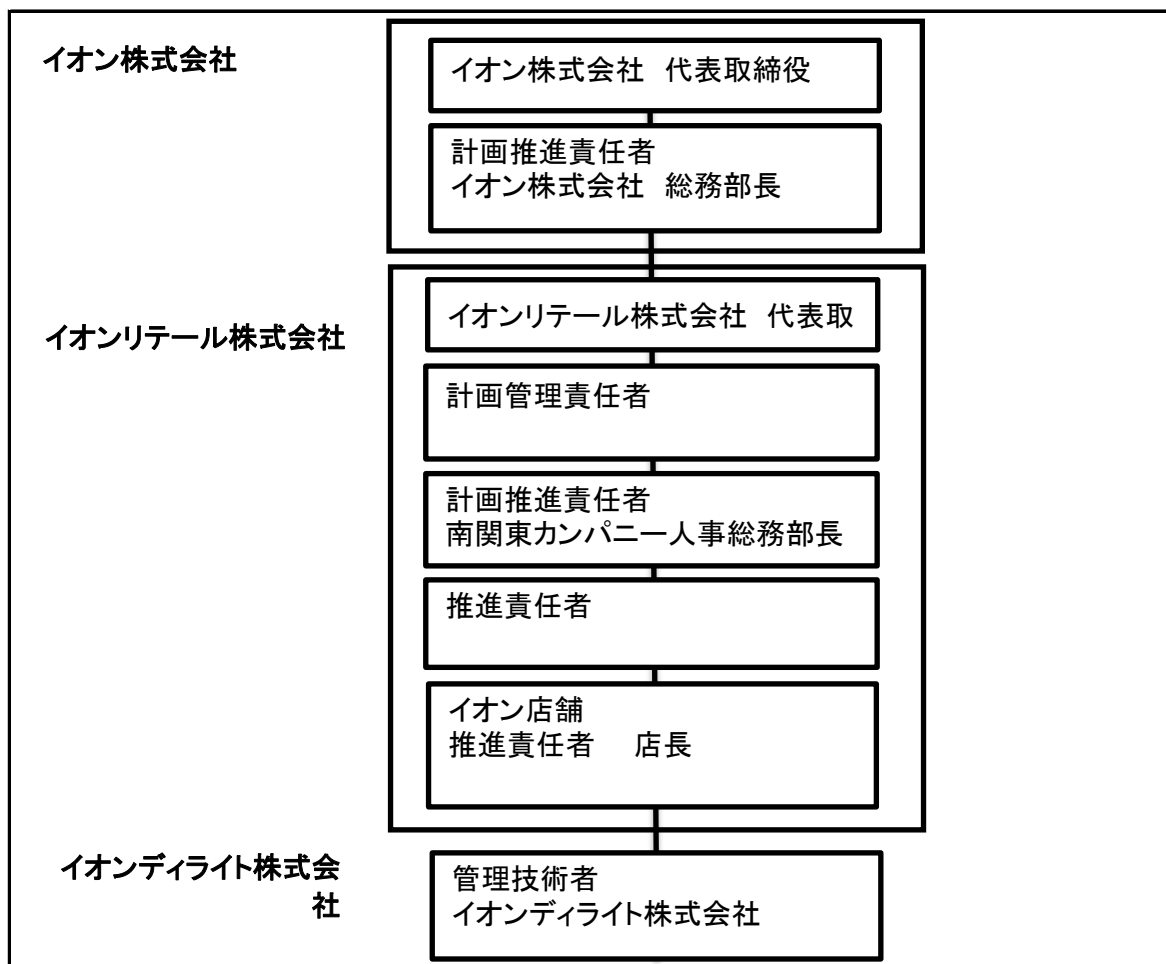
#### (1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

イオンでは事業と環境・社会を両輪としたサステナブル経営を実施し、持続可能な社会の実現を目指しています。下記の事業をとおして、社会が抱える様々な解決に取り組みます。・「脱炭素型社会の実現」・「資源循環の促進」・「生物多様性の保全」・「地域社会との共生」特にエネルギー使用に関わる「脱炭素型社会の実現」において、温室効果ガス排出防止策として、フロン排出抑制法を遵守し、環境負荷の少ないフロン冷媒へ順次機器更新を推進します。3年計画で、t-CO2原単位3%の削減を目指します。

#### (2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDCAサイクル）を行うための方針

省エネチェックリスト作成（計画）  
 設備運用管理や電力使用量削減グラフによる見える化など（実行）  
 施設員とのメンテナンス会議実施（評価・改善）  
 社内ISO監査実施（評価・改善）

### 2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等		
基準	年度	2021				年度
目標	年度	2024				年度
基準	排出量	(実)	5,414	(実)		
		(調)	5,381 t-CO <sub>2</sub>	(調)	t-CO <sub>2</sub>	
目標	排出量	(実)	5,252	(実)		
		(調)	5,220 t-CO <sub>2</sub>	(調)	t-CO <sub>2</sub>	
削減量		(実)	162 t-CO <sub>2</sub>	(実)	t-CO <sub>2</sub>	
内 訳	対策実施による削減量	(実)	162 t-CO <sub>2</sub>	(実)	t-CO <sub>2</sub>	
	上記以外の削減量	(実)	0 t-CO <sub>2</sub>	(実)	t-CO <sub>2</sub>	
削減率		(実)	3.0 %	(実)	%	

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
原単位等の活動量		面積			
原単位の単位		t-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>			
基準年度の値		0.07776			
目標年度の値		0.07543			
削減率		3.0 %		%	

ウ 目標設定に関する説明

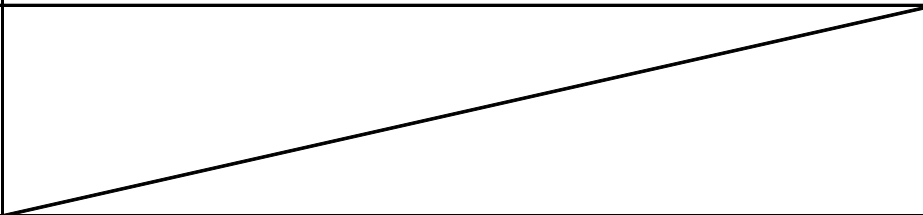
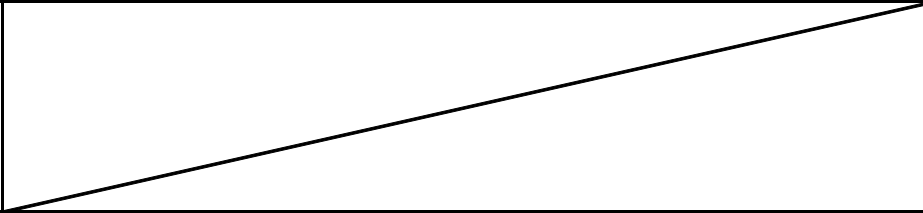
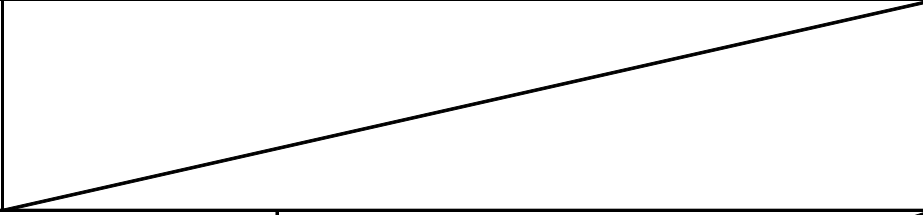
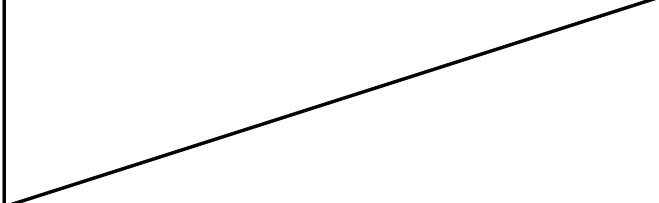
当社で認証取得している「ISO14001」の目標として、CO<sub>2</sub>の削減を掲げており、中でも大きな比重を占める「電気使用量の削減」については、前年対比1%以上の削減を目標として取組を行っているため、連動性をもたせる目標設定としています。また、計画期間中に事業所数が変わるなどを考慮し、面積を基準とした「原単位」を目標としています。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容 (別表第1から6等を参考に記載してください。)

<p>計 画</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 立体駐車場LED器具更新 (照度是正)</li> <li>・ 売場2F店内LED化</li> <li>・ 食品冷凍機更新 (冷媒R22機器からの順次更新)</li> <li>・ 契約業務によるエアフィルター清掃、FCU・AHUフィン洗浄、空調室外機フィン洗浄の実施</li> </ul>
<p>第1年度</p>	
<p>第2年度</p>	
<p>第3年度</p>	
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

--

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	×	設置の検討をしたが賃貸物件のため導入に至りませんでした。
風力	×	設置の検討をしたが賃貸物件のため導入に至りませんでした。
バイオマス	×	設置の検討をしたが賃貸物件のため導入に至りませんでした。
未利用エネルギー	×	設置の検討をしたが賃貸物件のため導入に至りませんでした。
その他 ( )		
その他 ( )		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	○	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ( )	
EV、PHV、FCV	×	その他 ( )	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	ありません。
第1年度	/
第2年度	/
第3年度	/

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃棄物の減量、分別の推進</li> <li>・ 買物袋持参運動の推進（レジ袋削減）</li> <li>・ 店頭での資源回収実施（食品トレー、紙パック、アルミ缶）</li> <li>・ 環境配慮型商品の積極的販売</li> <li>・ 廃棄物「0」の取り組み</li> <li>・ 照明やOA機器のスイッチオフ（節電）</li> <li>・ グループ各社と共同物流に変え商品物流時のCO2削減</li> <li>・ クールビズ、ウォームビズの実施</li> </ul>
第1年度	/
第2年度	/
第3年度	/

7 基準年度のエネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出の量等の実績 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出量

(実)	5,414	t-CO <sub>2</sub>
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

3,011	K L
-------	-----

ウ 事業所の数

2
---

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量
イオンスタイル新百合ヶ丘	川崎市麻生区上麻生1-19	4,917 t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>